



# 平成30年1月分 大分税関支署管内貿易概況

平成30年3月8日  
門司税関 大分税関支署

## 県全体の貿易額

輸出額は768.3億円、前年同月比24.8%増、16か月連続のプラス

映像機器、銅及び同合金、事務用機器などが増加

有機化合物などが減少

輸入額は949.7億円、前年同月比2.7%減、2か月ぶりのマイナス

原油及び粗油、石炭、揮発油などが減少

銅鉱などが増加

### 主要品目

(単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	9,061	91.7	↓	鉄鉱石	15,512	104.9	↑
鉄鋼	21,450	103.3	↑	銅鉱	23,981	111.7	↑
銅及び同合金	10,312	218.6	↑	石炭	11,815	77.6	↓
事務用機器	10,092	134.3	↑	原油及び粗油	12,654	72.2	↓
映像機器	10,423	466.7	↑	揮発油	5,563	68.7	↓
船舶類	10,466	104.0	↑	液化天然ガス	12,961	122.3	↑

## 港（通関官署）別の状況（詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照）

大 分）輸出は655.8億円、前年同月比22.8%増。映像機器、銅及び同合金、事務用機器などが増加  
輸入は930.4億円、前年同月比3.4%減。原油及び粗油、石炭、揮発油などが減少

佐 伯）輸出は33.1億円、前年同月比13.8%減。船舶類が減少  
輸入は13.1億円、前年同月比3.5倍。船舶類、植物性油かすが増加

津久見）輸出は79.3億円、前年同月比84.6%増。船舶類が増加  
輸入は6.2億円、前年同月比27.3%減。石炭、アルコール飲料が減少

大分  
空港）輸出入実績なし

### 港 名（通関官署）

(単位：百万円、%)

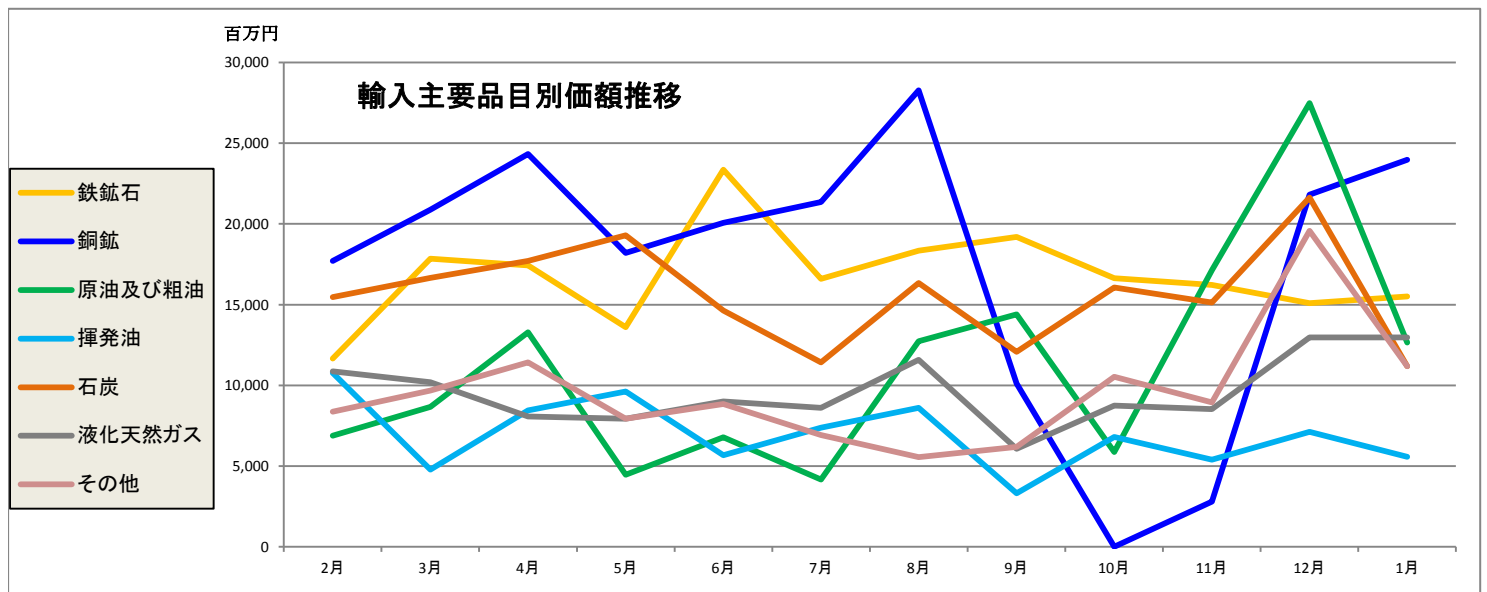
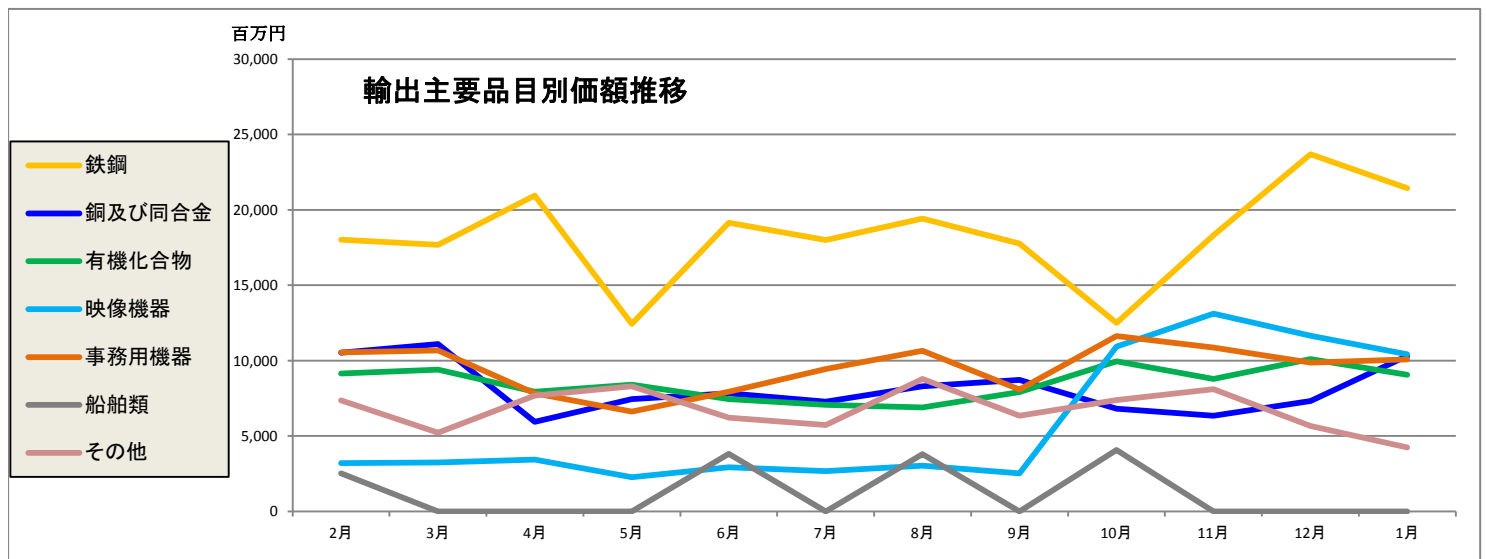
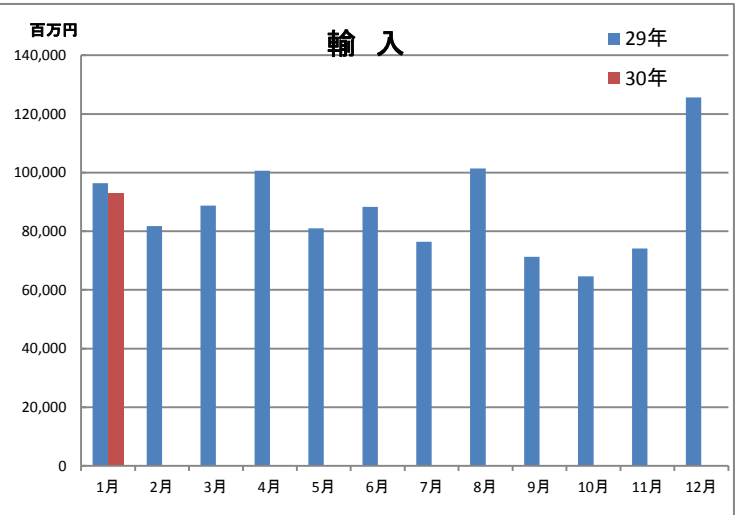
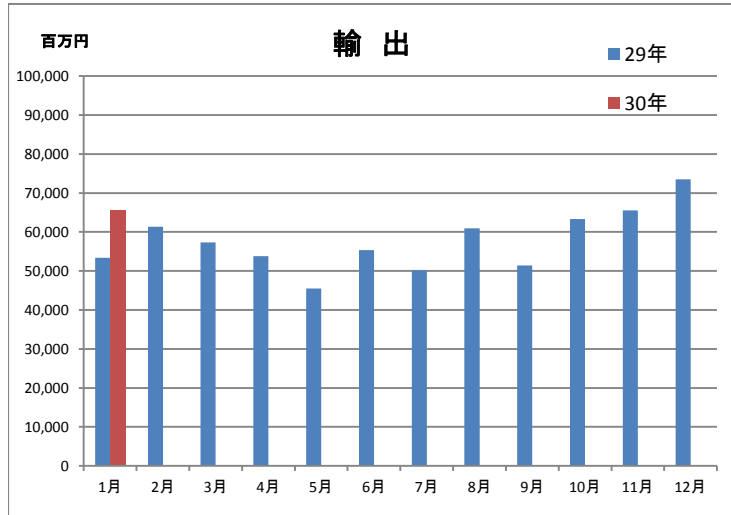
区 分	輸 出				輸 入				差引額	
	価 額	前年同月比			価 額	前年同月比			出・入超	価 額
大 分(大 分)	65,583	122.8	↑	15か月連続のプラス	93,039	96.6	↓	2か月ぶりのマイナス	入超	27,456
佐 伯(佐 伯)	3,312	86.2	↓	2か月連続のマイナス	1,311	350.2	↑	4か月ぶりのプラス	出超	2,001
津久見(津久見)	7,931	184.6	↑	2か月連続のプラス	623	72.7	↓	2か月ぶりのマイナス	出超	7,308
大分空港(大分空港)	-	-			-	全減			-	-
大 分 県	76,827	124.8	↑	16か月連続のプラス	94,973	97.3	↓	2か月ぶりのマイナス	入超	18,146

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

## 大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課  
シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>  
税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>